

会 議 録

会 議 名	令和6年度第1回丸亀市部活動地域移行等検討委員会
開 催 日 時	令和令和6年7月11日（木）午後2時00分～
開 催 場 所	丸亀市役所 特別会議室
出 席 者	<p>出席委員： 岩根 誠・漆原 光徳・大西 光宏・香川 真美・亀山 京子・小糸 太一・高井 真治・近澤 裕明・徳永 博保・三谷 勇気 山本 博美（50音順・敬称略）</p> <p>傍聴人： なし</p> <p>事務局： 末澤教育長・窪田教育部長・田中協働推進部長 岩井学校教育課長・村尾まなび文化課長・奥田スポーツ推進課長・御厨学校教育課主任指導主事・林まなび文化課副課長・平池スポーツ推進課副課長・遠藤学校教育課指導主事・大西学校教育課指導主事・多田市文化協会事務局員・西久保スポーツ推進課主任</p>
次 第	<p>次 第</p> <p>1 ロードマップの確認</p> <p>2 現在の外部指導者の状況</p> <p>3 スポーツ振興課から</p> <p>4 まなび文化課から</p> <p>5 県の現在の状況</p> <p>6 その他</p>
議事の経過 及び発言要旨	<p>1. 開会</p> <p>2. 教育長挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p>4. 閉会</p>
事務局	<p>本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>ただ今から、「令和6年度 第1回 丸亀市部活動地域移行等検討委員会」を開催いたします。</p> <p>本日の会議は、お手元に配付いたしております「次第」に沿って進めてまいりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それではただいまから議事に入りたいと思います。</p>
議長	<p>まず初めに、この検討委員会にご参加の委員の方々に委嘱状をお配りいたしております。ご確認ください。</p>

<p>事務局（大西）</p>	<p>続きまして、漆原委員より名簿順に、一言自己紹介をお願いいたします。</p> <p>まず議題の1です。令和6年度の取り組みについてです。事務局よりお願いします。</p> <p>事務局より、令和5年度に作成いたしましたロードマップについて確認させていただきます。お手元の資料、5Pをおあけください。まず、目的についてですが、国や県のガイドラインのモデルケースとして示されているように、本市は、現在部活動に所属している生徒たちの地域の受け皿の状況に鑑み、直ちに地域移行の体制整備が困難な場合に当たるとして、まずは「学校部活動の地域との連携・協働」に取り組んでまいります。地域との連携・協働により、学校部活動の改革に取り組み、生徒や保護者の負担に十分に配慮しつつ、持続可能な活動環境の整備を進めてまいります。</p> <p>4の具体的手法としましては</p> <ul style="list-style-type: none"> ①部活動指導員の適正配置・拡充 ②外部指導者の活用 ③各種スポーツ・文化芸術団体との連携 ④合同部活動の推進 ⑤拠点校部活動の推進 <p>の5点です。</p> <p>6Pをご覧ください。国が示すモデル図を基に、「丸亀市部活動の地域との連携・協働」のイメージ図を作成しています。</p> <p>まず中心部にある地域人材の確保については、部活動コーディネーターを窓口として、各校からの要望、県人材バンクの状況、スポーツ推進課、文化課の情報を基に人材の拡充を図り、各校の実態に応じたマッチングを行ってまいります。</p> <p>本市は、単独での部活動が困難な場合には、合同部活動や拠点校部活動を推進してまいります。そこに対しても単独での指導や引率を任せることのできる部活動指導員や教職員のサポートをしていただける外部指導員を積極的に配置しながら、子どもにとって望ましく、教職員の働き方改革につながる連携を進めてまいります。</p> <p>また、スポーツ推進課と文化課が中心となり各種スポーツ・文化芸術団体のイベント等を積極的に周知し、参加を呼びかけることで、休日の学校部活動以外の活動環境の確保や地域が活性化する取組につなげてまいります。</p> <p>7P目をおあけください。本市のロードマップになります。</p> <p>昨年度も確認させていただいたように、ロードマップについては国や県の動向に注視しながら、状況に応じて見直しを図ることとしています。</p> <p>本日の会に向けた担当による事前打ち合わせ会において、現時点では、本年度の取組みにおいて大きな変更はなく、ロードマップに基づいて推進していくこと</p>
----------------	---

	<p>を確認しております。</p> <p>(2) 現在の外部指導者の状況について 外部指導者の状況についてお知らせいたします。 P9をお開けください。令和6年度の運動部活動の学年別・男女別の一覧となっております。色付けしている部活動に外部指導者がついております。P10をご覧ください。こちらが文化部の学年別・男女別の一覧となっております。運動部と同じように色付けしている部活動に外部指導者を配置しております。P11が過去3年間の部活動加入者です。令和4年度は文化部の集計がありませんでした。文化部所属を除いて集計したところ令和6年5年ともに約63%となっております。このことから部活動加入生徒の割合はほぼ横ばい状態といえます。続いて、部活動指導員の一覧です。新規採用指導者は、綾歌中学校の松野氏、南中の塩田氏の2名です。写真は指導風景となります。本年度は運動部活動10名・文化部活動3名の外部指導者を導入することが可能です。新チーム以降必要なところに配置をしたいと考えております。なお拠点校方式として選手募集をしていた西中学校女子ソフトボール部に、他校からの参加者もあり大会に出場できる人数になりました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。続きまして、議事(3)「スポーツ推進課の取り組みについて」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和6年度のスポーツ推進課の取り組み内容については、ロードマップにおいて次の二つの方針を打ち出している</p> <p>①スポーツ団体等からの部活動指導員・外部指導者の確保・開拓 ②各種スポーツイベント等の積極的な周知・受け入れ</p> <p>①については、競技団体やスポーツ少年団等が集まる会議において、スポーツ協会と協力して、香川県地域クラブ活動等指導者人材バンク(クラサポかがわ)を紹介し、指導者の登録をお願いしています。</p> <p>②については、(添付した資料参照)中学生のみを対象としたイベントは現在開催していません。本市においては、東洋炭素アーバンスポーツパーク丸亀が今年2月17日オープンしました。スケートボードパークと3X3二面を整備し、使用料は無料で午前9時から午後9時までの利用可能となっております。推計値ではあるが一日の利用者は、スケートボードで40人程度、3X3で34人程度となっており、放課後や夜間、休日での小中学生を含む学生の利用も多い印象があります。このアーバンスポーツパークを利用し、香川県スケートボード協</p>

<p>議長</p>	<p>会や香川県バスケット協会の協力のもとチラシの裏面にあるようにオープニングイベントとしてスケートボードのビギナーズスクールや3X3の体験ゲームを開催いたしました。また5月にもチャレンジウィークのイベントにおいて同様の教室を開催して頂きました。どちらも年齢制限を設けていないため中学生に特化したイベントではないのですが、このような活動を継続していきたいと考えます。これらの競技は、現在部活動としての活動はしてはいませんが、このような体験教室を開催することで中学生にとっては、放課後等の居場所として活用できるのではないかと考えています。</p> <p>続きまして、議事（4）「まなび文化課の取り組みについて」事務局から説明をお願いします。</p> <p>ロードマップについて</p> <p>① 「文化芸術団体のイベント等の積極的周知・受け入れ」</p> <p>② 「文化芸術団体からの部活動指導員・外部指導者の確保と開拓」</p> <p>に取り組むとされています。</p> <p>・具体的な取り組み内容を説明いたします。</p> <p>①こちらについては多様な分野の文化活動を提供することにより、体験格差の軽減、活動の選択肢の増加、地域での居場所づくりや継続した活動につなげていきたいと考えています。今後は、文化芸術団体による小学校へのアウトリーチとして文化クラブ体験会の開催を予定しています。この事業は子供たちに多様な文化芸術活動の体験活動にお機会を提供し、地域での文化芸術活動の推進を目的とするとともに、地域の団体を知ってもらい、中学校進学時に希望の部活動がなかった場合の選択肢としてもらう等、地域の文化芸術団体が受け皿の一つとなる仕組みづくりを狙ったものです。</p> <p>②こちらについては、学校の具体的な要望を受けて指導員などをマッチングするとともに、文化芸術団体の活動への参加・調整を行うこととしています。今回現状把握として、中学校部活動に比較的にかかわりがあると考え得られる分野、具体的に申し上げますと、「茶道」「吹奏楽」に絞って、学校での活動状況を丸亀市文化協会に依頼し、会員の聞き取りを行って頂きました。</p> <p>その結果、小中学校授業、クラブ活動や部活動で活動している団体は、小学校では2団体、中学校では5団体ありました。なお、先ほど話に出ました綾歌中学校の部活動指導員は丸亀市吹奏楽団の在籍者です。このような現状から、地域移行について対応・協力が可能であると考えますが、団員の人手不足、高齢化、時間的制約があることが課題となっており、受け入れ環境・体制についての不安（活動中の事故や個人情報の取り扱い等）もあります。こうしたことか</p>
-----------	--

<p>議長</p>	<p>ら、学校側の意向に応じて丁寧に聞き取りを行い、マッチングや調整に取り組み、段階を踏んで進めていきたいと考えています。</p> <p>ただ今の説明につきまして、ご質問はございませんか。 質問がないようですので次の議事に移ります。</p> <p>続きまして、議事（５）「香川県の動向について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>まず香川県が目指す姿についてです。 これは５月に県で開催された会議で示されたものです。資料にあるように、中学生の生徒数の減少がさらにすすみ、部活動所属生徒が減少し、合同部活動の増加が予想され、協議経験のない教員を部活動に配置せざるを得ないことが予想されています。そのために、「香川県学校部活動及び地域移行および地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を踏まえ、県内公立中学校等の休日等における学校部活動の地域移行等の推進を目的に策定されています。香川県が目指す姿として「生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現」が挙げられています。その方向性としまして資料にあげられたとおりです。 学校部活動の地域移行に向けた取り組みのロードマップも策定しております。 （３）の方針及び計画等に基づく地域移行の推進としてア～キが想定されております。</p> <p>どの項目も様々課題があります。この指導者に関しては香川地域クラブ活動指導者人材バンク「クラサポかがわ」の運営が始まりました。現在のところ２０人ほどが登録をしているようです。ちなみに、香川県としては、完全な地域移行を目指しているという考えを５月の会議で示されました。</p> <p>国・県・市町の取り組みの計画が資料になります。</p> <p>次のページにある地域クラブ活動の運営形態案についてです。丸亀市がどの運営型になるか、様々な意見をもとに方針を決定していく予定です</p> <p>ご参加の皆様からのご意見をお伺いいたします</p>
<p>委員</p>	<p>東中ではバドミントン部に部活動指導員の配置いただいている。基本的に部活動には複数の顧問をつけることができている。しかし水泳部の顧問は一人しか顧問をつけることができません。</p> <p>また専門外の顧問もいるのですが、教員の努力で指導方法を学び、指導しているのが現状です。そんな場合は、子供・親のニーズにこたえられないこともあ</p>

委員	<p>ります。</p> <p>現在のところ合同部活動にしなければならないという状況ではありません。部活動の顧問は複数配置できている状態です。子供たちのために・教員の負担軽減を念頭に置いて取り組んでおります。課題が出てくれば先を見通し、現状を切り開ていかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>吹奏楽・合唱部とも指導の専門性が求められます。吹奏楽や茶道部では専門家の先生の招聘を行うことが多いです。複数の顧問の配置が必要であると考えます。中学校の教員は部活動があるため大変であると、小学校の教員は思っております。</p>
委員	<p>外部指導者について、信頼ができる指導者の確保について教えてください。資格や指導経験は問わないのですか？スポ少では保護者がボランティアで指導を行うケースが多い状況です。スポ少では指導資格を1万円ほどで取得できます。4年ごとに同額で更新の制度があり、約200名程度が更新手続きをしております。しかし、中学の外部コーチになる方は、様々な考え方を持つ指導者がいるため心配な点があります。</p>
議長	<p>外部指導者について現場はどのようにとらえていますか。</p>
委員	<p>生徒との関係性や、生徒に関する秘密に関して厳守をしていただく必要があります。以前、大学の運動部員を指導者として採用したという例もあります。その様なことができればありがたいと考えます。</p>
議長	<p>〇〇校長はいかがでしょうか？</p>
委員	<p>部活動は競技力だけでなく、役に立つ力を身に付けさせることが大切であると考えます。人の育成を大切にしているのです。</p>
議長	<p>親の立場から部活動についてどのように考えていますか。</p>
委員	<p>以前地域の人が教えるようになれば、部活動をする必要がなくなるといわれたことがあります。現在の保護者の考えは、学校でやっている意味が大きいと思っっている人がほとんどです。</p> <p>保護者も学校の部活動のほうが協力しやすいです。PTA改革が進む中、地域移</p>

委員	<p>行をしては、PTAの予算を使えなくなることが心配です。受益者負担は、いかななものか、という意見が多いです。</p> <p>P10の文化部の部員数は自分が生徒のころと比べて減少はしているものの、ほとんど変化はありません。学校を拠点として活動している部活動は変わらないのが現実です。吹奏楽は、小さな楽器は自分持ちで移動も簡単にできるが、打楽器は学校(市)の備品なので、地域移行となった場合、どのようにするのか？他市のある学校では、練習の音がうるさいと苦情を言われることがあったようです。また、指導を行う場合は、パワハラ・セクハラ等の意識を持って指導しなければなりません。「クラサポ」は指導者のスキルのみで、生徒を指導するための資質に関するフィルターがないため心配です。マッチングも難しいのではないかと考えます。</p>
議長	<p>県はどのような状況なのでしょう？</p>
事務局	<p>マッチングについては、まず適任者を市または学校のほうで見つけたうえで、クラサポに登録してもらい、それを採用するという形があると聞いております。県のほうでも外部指導員の研修を定期的に行っています。</p>
委員	<p>ソフトテニスの関係者から、スポ少の練習に自主的に参加する中学生が数人いると報告がありました。これからどうなるかはわかりませんが、このような事も増えると考えています。</p>
議長	<p>皆様貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>この機会に発言がある委員の方はございませんか？</p> <p>以上を持ちまして、すべての議事を終了させていただきます。委員の皆様ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上を持ちまして「令和6年度第1回丸亀市部活動地域移行等検討委員会」を終了いたします。</p> <p>次回検討委員会につきましては、追ってご案内をさせていただきます。</p>

